

イメージフォーラム・シネマテーク  
No.1078

前田真二郎 × 芹沢洋一郎

"Visible Through the Image"

SHINJIRO MAEDA × YOICHIRO SERIZAWA  
Screening & Dialogue Sessions

# 「映像から見えるもの」上映と対話



Program C | 前田真二郎 (1995)



Program C | 芹沢洋一郎 DIRECT LIGHT (1995)

前田真二郎と芹沢洋一郎による2人展。それぞれの、90年代の過去作、近作の長編、そして未発表の新作を上映。「1995年の実験映画」、「撮影する映像作家」というテーマでクロストークを行う。

2025 3・1 Sat. 3・2 Sun. イメージフォーラム 3F「寺山修司」



1プログラム券：一般700円／会員500円 3プログラム券：一般1,500円／会員1,200円  
当日受付 ※3/1は13:00より、3/2は15:15より受付開始します

◀ イメージフォーラム・シネマテークのウェブサイトからも詳細をご覧ください。

満席の際にはご入場をお断りする場合がございます。あらかじめご了承下さい。

IMAGE FORUM

映像作家・前田真二郎と芹沢洋一郎による2人展。新作を含む作品上映とクロストーク。両監督は1990年代初期のイメージフォーラム・フェスティバル (IFF) で入賞し、1995年のIFFでは前田が『L』、芹沢が『DIRECT LIGHT』を発表。偶然にも共通するテーマは「スクリーンの光」。初日 Program Cでは、両作品を上映。クロストークでは「1995年の実験映画」を語る。

2日目 Program E では、芹沢の過去作2本と、両監督の新作を上映。『感情・ゲル状の景色』は武吉伸治とのビデオレター形式の作品。『サヴァイヴァル 5+3』は8mmフィルムと自身の病との対峙を重ねた実験映画。それに続き、両監督の新作、指示書をもとに制作する短編映画『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』を初上映。上映後のクロストークのテーマは「撮影する映像作家」。

初日 Program A の『日々“hibi”AUG』は、山形国際ドキュメンタリー映画祭 2023 インターナショナル・コンペティション部門選出作。Program B 『合成人間のリハビリ』は、IFF2022や韓国 EXiS2024 で上映された近年の話題作。

2日目 Program Dでは、5人の監督によるオムニバス作品『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2011/2021』を上映。監督は大木裕之、釜利子、鈴木光、池田泰教、前田真二郎。舞台挨拶を予定。

### Program A

日々“hibi”AUG 3/1  
前田真二郎／デジタル／120分／2022

### Program B

合成人間のリハビリ 3/1  
芹沢洋一郎／デジタル／49分／2022

### Program C

L 3/1  
前田真二郎／ビデオ／25分／1995

DIRECT LIGHT 3/1  
芹沢洋一郎／16ミリ／16分／1995

上映後、両監督によるクロストーク  
「1995年の実験映画」

### Program D

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2011/2021 3/2  
鈴木光、大木裕之、釜利子、池田泰教、前田真二郎／デジタル／54分／2024

監督による舞台挨拶あり

### Program E

感情・ゲル状の景色 3/2  
(武吉伸治とのビデオレター)  
芹沢洋一郎／ビデオ／25分／1993

サヴァイヴァル 5+3(デジタル捕獲版)  
芹沢洋一郎／デジタル／9分／2017

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW ※新作  
前田真二郎／デジタル／5分／2025

BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW ※新作  
芹沢洋一郎／デジタル／5分／2025

上映後、両監督によるクロストーク  
「撮影する映像作家」

### Time Table

	3/1	3/2
13:30	A	-
15:45	B	D
17:00	C	E
受付開始時間	13:00	15:15

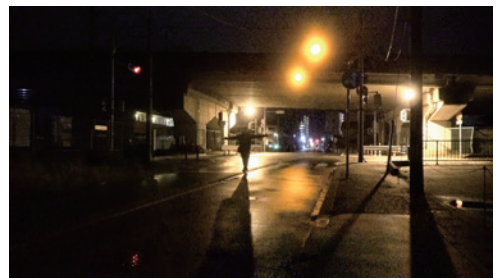
### 前田真二郎 MAEDA Shinjiro

映像作家。1969年生まれ。大学在籍時に IFF92、IFF93 で連続入賞。90年代より映像作家として活動し、他領域アーティストとのコラボレーションも積極的に取り組む。WEBムービープロジェクト『BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW』が、第16回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞を受賞。近年の発表に、第23回中之島映像劇場「光の布置-前田真二郎レトロスペクティブ-」(国立国際美術館／2022年)、山形国際ドキュメンタリー映画祭 2023 インターナショナル・コンペティション部門等がある。情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 教授。

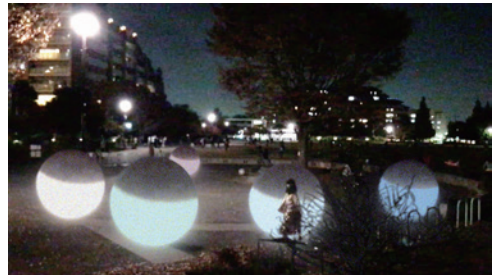
### 芹沢洋一郎 SERIZAWA Yoichiro

映像作家。1963年生まれ。17歳で初作『まじかよ?』(1980)が PFF81 入選。流血映画を連作後、奥山順市とロベール・ブレッソンから「主題と手法の一致」を学び作風を転向。「間男」(1989)が IFF90、「殺人カメラ」(1996)がサンフランシスコ国際映画祭で入賞。その後、沈黙期間を経て、『サヴァイヴァル 5+3』(2016)を20年ぶりに発表し IFF17 において観客賞を受賞。IFF17では特集プログラム「芹沢洋一郎作品集」が組まれる。IFF2022では、過去作『合成人間』(1993)が丸ごと取り込まれた作品『合成人間のリハビリ』を発表している。

協力：SOL CHORD、株式会社ダゲレオ出版



Program A | 前田真二郎 日々“hibi”AUG(2022)



Program B | 芹沢洋一郎 合成人間のリハビリ(2022)



Program D | BETWEEN YESTERDAY & TOMORROW 2011/2021 (2024)



Program E | 芹沢洋一郎 感情・ゲル状の景色(武吉伸治とのビデオレター)(1993)



Program E | 芹沢洋一郎 サヴァイヴァル 5+3(デジタル捕獲版)(2017)

### アクセス

### イメージフォーラム 3F「寺山修司」

東京都渋谷区渋谷 2-10-2  
TEL. 03-5766-0116  
info@imageforum.co.jp

